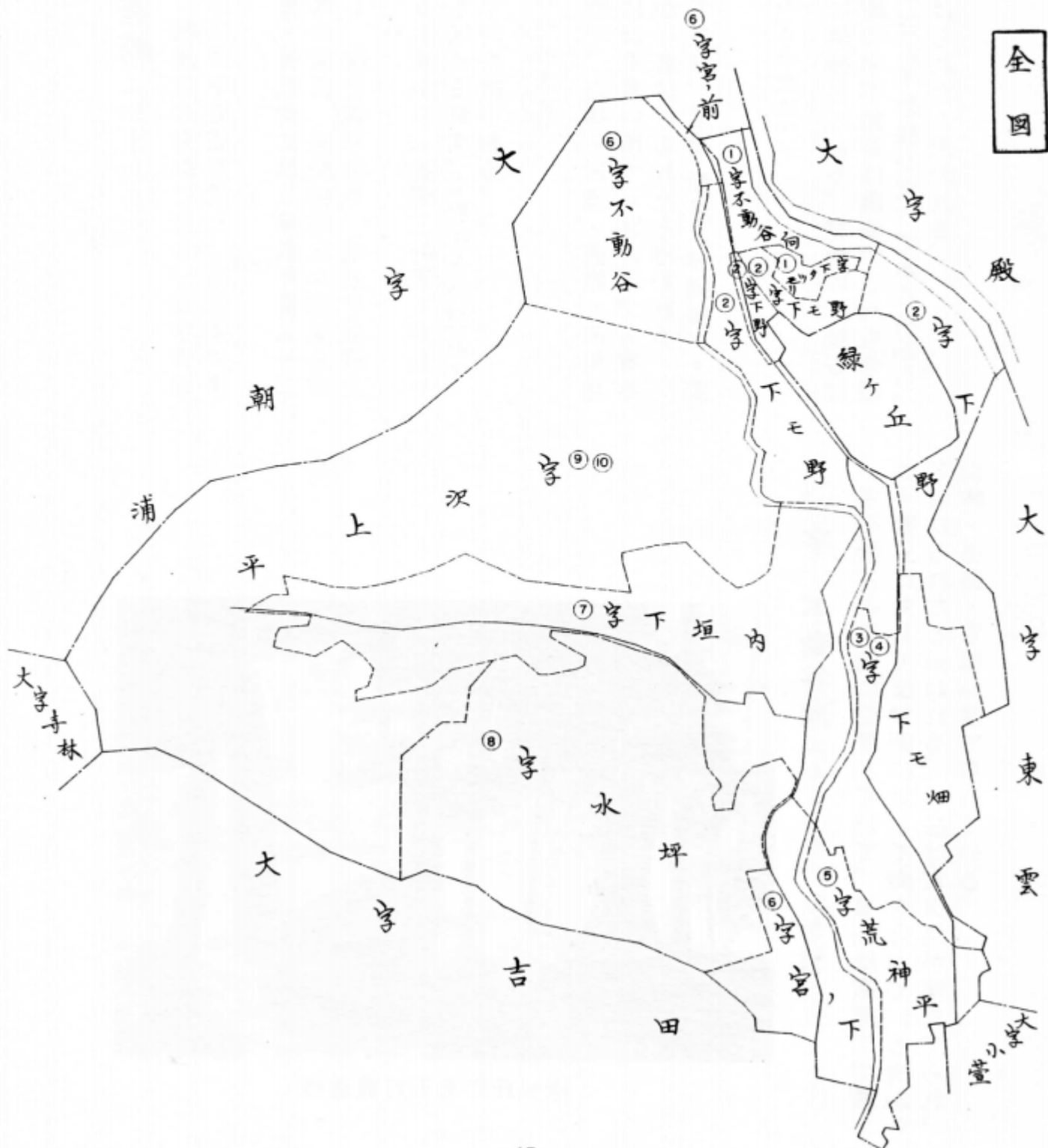


# 釜崎



全圖



## 第一章 大字 釜崎 (かまさき)

釜崎は神岡の市街地、朝浦区の南部に当り、大字吉田地区の入口で、吉田川がほぼ中心部を流れ、高低差の多い所である。

地名については、町史・神社史には「承久年間(一二一九〜一二二一)―江馬の家臣 釜崎治郎左エ忠胤と言う者―この地に居住し、神を齋り奉り、地名を釜崎と号した。」と有る。

金森家臣団が入村する以前から「釜崎三軒家」があり年代が代る頃より軒数も増え五軒衆、七軒家と呼ばれる。古きより釜崎と呼ばれていた村である。

### 一、字 宮ノ前 (みやのまえ)

朝浦八幡宮の西側の所で、山林・田畑・道路・河川地又住宅など有る。北南にほそ長い所で、宮の下でも有るが前側でも有るところから名付けられたと思われる。

現在は吉田川が埋立てられ、道路・鉄道(神岡線)・家屋敷となつて居る。

### 二、字 不動谷 (ふどうたに)

大字朝浦の字不動谷に隣接している。朝浦の不動谷は北側の急斜面地で、釜崎の字不動谷は南側でこれも急傾斜地である。両方の山の谷に不動様が祀つてある所から、釜崎の字不動谷と名付けられたと思われる。

### 三、字 不動谷向 (ふどうたにむかい)

字不動谷の東側に位置していて、東側は高原川で殿方面不動谷に対して反対側に対して向き合っている所から名付けられたと云われる。現在は吉田川が埋立てられ、山林・道路・家屋が建てられている。



緑ヶ丘にある灯籠道標